

千里ライフサイエンスセミナーP3

「獲得免疫と自然免疫の双方から捉える新しいアレルギー学」

1. 日時・場所

2020年9月15日(火) 10:30~16:20
千里ライフサイエンスセンタービル5階 山村雄一記念ライフホール

2. コーディネーター・座長

大阪大学大学院 医学系研究科 教授 茂呂 和世
京都大学大学院 医学研究科 教授 椛島 健治

3. 開催趣旨

従来のアレルギーといえば、Th2細胞により誘導されたアレルゲン（抗原）特異的IgEを介した肥満細胞の活性化によるI型アレルギーを主に想起させた。しかしながら、抗IgE療法の有効性は限局的であり、また、IL-4, 5, 13といった従来のTh2サイトカインは自然リンパ球により大量に産生される事が明らかとなった事から、獲得免疫と自然免疫の双方からアレルギー性疾患の病態を再考する必要があるが出てきた。さらに、アレルギーの誘導には上皮バリア、線維芽細胞や末梢神経などの非免疫細胞の重要性も見出されている。そこで本セミナーでは、免疫細胞と非免疫細胞のクロストークの観点を交えながら、獲得免疫と自然免疫の両側面から理解し、これに立脚したアレルギーの発症機構・治療戦略に関する最新の知見を御紹介いただきます。

4. プログラム

- 10:35-10:50 はじめに
大阪大学大学院 医学系研究科 教授 茂呂 和世
- 10:50-11:30 小児アレルギー疾患の発症における獲得免疫と自然免疫の役割
国立成育医療研究センター 免疫アレルギー感染研究部 部長 松本 健治
- 11:30-12:10 アトピー性皮膚炎の自然・獲得免疫からの再検証
京都大学大学院 医学研究科 教授 椛島 健治
- 昼 食—
- 13:20-14:00 バリア組織の感覚神経と免疫
理化学研究所 生命医科学研究センター チームリーダー 岡田 峰陽
- 14:00-14:40 2型自然リンパ球とアレルギー
大阪大学大学院 医学系研究科 教授 茂呂 和世
- 休 憩—
- 14:50-15:30 好酸球から見直すアレルギー性炎症
秋田大学大学院 医学系研究科 准教授 植木 重治
- 15:30-16:10 病原性Th2細胞による慢性アレルギー性気道炎症の病態形成と制御
千葉大学大学院 医学研究院 教授 中山 俊憲
- 16:10-16:20 おわりに
京都大学大学院 医学研究科 教授 椛島 健治

5. 参加費：無料

6. 定員 80 名（要事前申し込み）

新型コロナウイルス感染拡大防止のために座席間のソーシャルディスタンスを確保します。そのためセミナーP3 への参加は事前申込された方のみとし、定員になり次第募集を締め切らせて頂きます。

7. 申込方法

- 1) 氏名、勤務先、〒所在地、所属、電話番号を明記の上、E-mail でお申し込み下さい。
（メール件名を「千里 LF セミナーP3 申込み」として下さい）
- 2) 後日事務局より送付する参加証（E-mail）を印刷し、セミナー開催当日に受付でご提出下さい。

8. 申込先

公益財団法人千里ライフサイエンス振興財団 セミナーP3 事務局

E-mail : tkd-2019@senri-life.or.jp (TEL : 06-6873-2001、FAX : 06-6873-2002)

セミナーの詳細や変更等につきましては、下記の財団 web site にて随時ご案内しておりますのでご覧下さい。（財団 web site : <http://www.senri-life.or.jp/>）

以上